

沼田市役所跡地活用事業 経過と今後のスケジュール

平成29年 7月

サウンディング型市場調査実施（2者と対話）

旧庁舎跡地を活用するために本市初の試みとして実施。民間活力を取り入れた活用案や参入しやすい公募条件の整理などの検討をしました。

平成30年 4月

公募型プロポーザル実施（応募なし）

平成31年 1月

再度サウンディング型市場調査（4者と対話）

令和元年 5月 6日

旧沼田市役所庁舎閉庁

令和元年 5月 7日

テラス沼田オープン・沼田市役所（テラス沼田）開庁

令和元年 5月 7日

「沼田市ファシリティマネジメント施策に関する民間提案制度・テーマ設定型」

として公募開始

市有施設の整備や維持管理などファシリティマネジメントに関する事業について、市民サービスの向上、地域経済の活性化、財政負担軽減および地域課題の早期解決を目的に、民間からの事業提案を求め協議を経て事業化するもので、テーマ設定型とテーマフリー型があります。

本事業では民間事業者のノウハウを生かし、旧庁舎跡地の有効活用のほか、市財政や地域に貢献できる活用事業を目指すため、この制度により公募しました。

令和元年10月16日

4事業者から提案があり外部有識者を含む審査委員会を開催

地域経済への影響が多大であることに加え、市への財政貢献も高いことから

「宿泊施設を核とした市街地活性化事業」ルートインジャパン(株)を優先交渉権者に決定

市街地の中心である旧庁舎跡地に、観光をはじめとした経済産業活動の核となる宿泊施設を開業することにより、市街地活性化を図ります。近隣飲食業への好影響をはじめ、沼田公園や上之町大正ロマンエリアなど街中散策のほか、市内や利根郡内への観光拠点施設として大きく期待できます。

全国ホテルチェーンとして初の300店舗達成。ノウハウを生かした安定的な経営が期待できます。近隣のホテルルートイン渋川の宿泊客の約2割は、利根沼田への観光客であることからニーズは高いと考えられます。

令和2年 3月

沼田市企業誘致推進条例、同施行規則を改正（固定資産税・都市計画税の優遇措置、5年間）

令和2年 3月30日

ルートインジャパン(株)と基本協定を締結

令和2年 6月

旧庁舎解体工事仮契約締結。市議会で議決後仮契約

令和3年 1月

旧庁舎解体工事完了

令和3年 4月30日

「(仮称) ホテルルートイン沼田」開業に係る地元説明会

令和3年 6月

(予定) 土地賃貸借契約（定期借地権 35年）を締結（仮契約）

令和3年 6月

(予定) **土地賃貸借契約を市議会上程、議決後本契約**

令和3年 8月

(予定) **「(仮称) ホテルルートイン沼田」工事着工**

令和4年11月

(予定) **「(仮称) ホテルルートイン沼田」開業**



基本協定書

問合せ 財政課 F M推進係 ☎内線 4 0 4 5